

太田商工会議所管内景況調査報告書

(第89回)

2019年 1月～3月期 実績

2019年 4月～6月期 見通し

太田商工会議所

〒373-8521 群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276(45)2121

FAX 0276(45)1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

E-Mail info@staff.otacci.or.jp

太田商工会議所 景況調査 目次

調査要項・・・・・・・・・・・・・・・・	1
調査目的や対象企業（業種）、回答率など	
設問に対する業種別回答・・・・・・・・	2
9つの質問に対する業種別による回答状況	
業種別D I 値について・・・・・・・・	5
6つの業種ごとのD I 値及び回答企業からのコメント	
全体D I 値について・・・・・・・・	9
全ての業種を併せたD I 値と1年間の推移	
比較資料編・・・・・・・・・・・・・・・・	10
同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較 （中小企業基盤整備機構、日本商工会議所LOBO調査、日銀短観）	

第82回・平成29年4～6月調査からは、依頼企業数を150社から270社へ増やすとともに、対象業種を6つに絞った（従来は10業種）。

これは、各地域・機関で行っている同様の調査結果と比較できるように工夫したもので、巻末に比較資料編を付けてある。

【調査要項】

1. 目的

管内経済動向を把握し、併せて経営者への情報提供とするとともに、今後の経営指導の資料とする。

2. 調査時点及び対象期間

- ① 調査時点 平成31年1月
- ② 調査対象期間 今期（平成31年1月～3月期）に対する前期（平成30年10月～12月期）及び前年同期（平成30年1月～3月期）との比較実績、並びに今後3ヶ月間の業況見通しについて調査。

3. 調査対象

当所会員事業所の業種を5つ（製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業）に分類し、製造業に関しては、更に「輸送機器」と「その他製造業」に分けた。

調査対象先の企業数については、太田商工会議所会員事業所の業種割合にて案分し、下記の通り調査を実施した。

4. 回答状況

	依頼数	回答数	回答率
全 体	270	→ 211	(78.15%)
輸送機器	40	→ 33	(82.5%)
その他製造	40	→ 36	(90.0%)
建設業	50	→ 39	(78.0%)
卸売業	30	→ 23	(76.7%)
小売業	40	→ 33	(82.5%)
サービス業	70	→ 47	(67.1%)

5. D I 値について

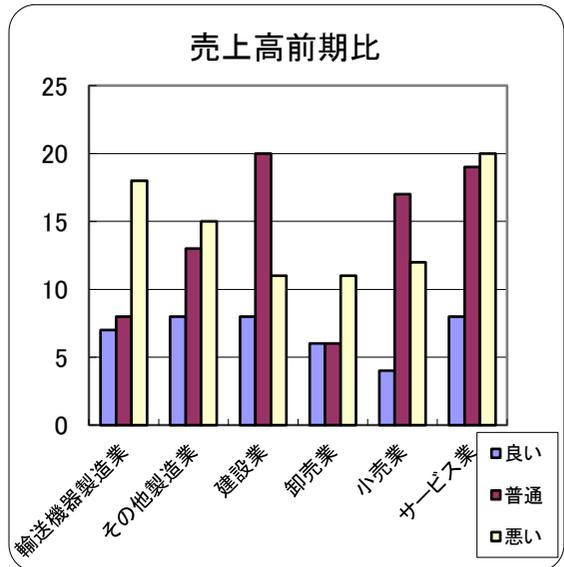
D I とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、良い（増加）と答えた企業の割合から、悪い（減少）と答えた企業の割合を引いたもので、企業経営者の景況判断をみる指標である。

(例：ある設問において、「良い」と答えた企業…15% 「悪い」と答えた企業…25%の場合、D I 値は▲10.0となる。)

(1)設問に対する業種別回答

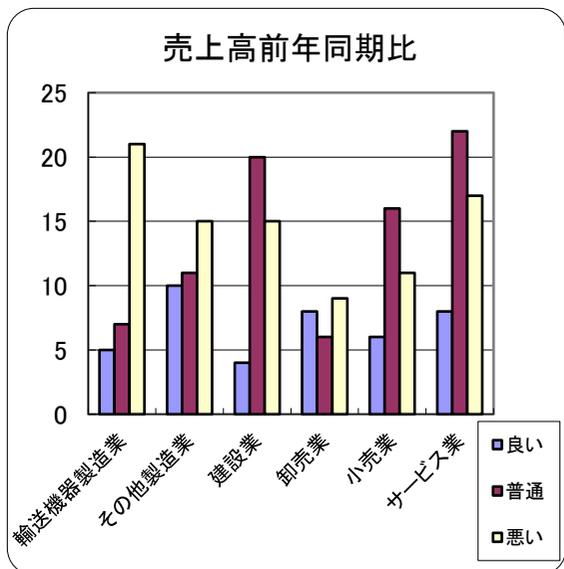
売上高前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	7	8	18	33	▲ 33.3
その他製造業	8	13	15	36	▲ 19.4
建設業	8	20	11	39	▲ 7.7
卸売業	6	6	11	23	▲ 21.7
小売業	4	17	12	33	▲ 24.2
サービス業	8	19	20	47	▲ 25.5
合計	41	83	87	211	▲ 21.8



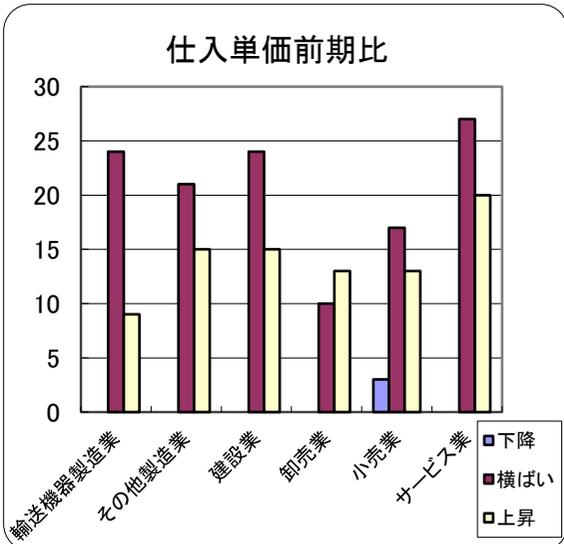
売上高前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	5	7	21	33	▲ 48.5
その他製造業	10	11	15	36	▲ 13.9
建設業	4	20	15	39	▲ 28.2
卸売業	8	6	9	23	▲ 4.3
小売業	6	16	11	33	▲ 15.2
サービス業	8	22	17	47	▲ 19.1
合計	41	82	88	211	▲ 22.3



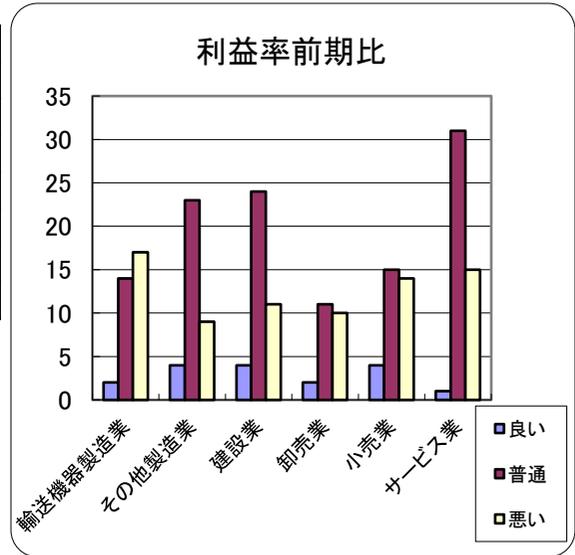
仕入単価前期比

	下降	横ばい	上昇	合計	DI値
輸送機器製造業	0	24	9	33	▲ 27.3
その他製造業	0	21	15	36	▲ 41.7
建設業	0	24	15	39	▲ 38.5
卸売業	0	10	13	23	▲ 56.5
小売業	3	17	13	33	▲ 30.3
サービス業	0	27	20	47	▲ 42.6
合計	3	123	85	211	▲ 38.9



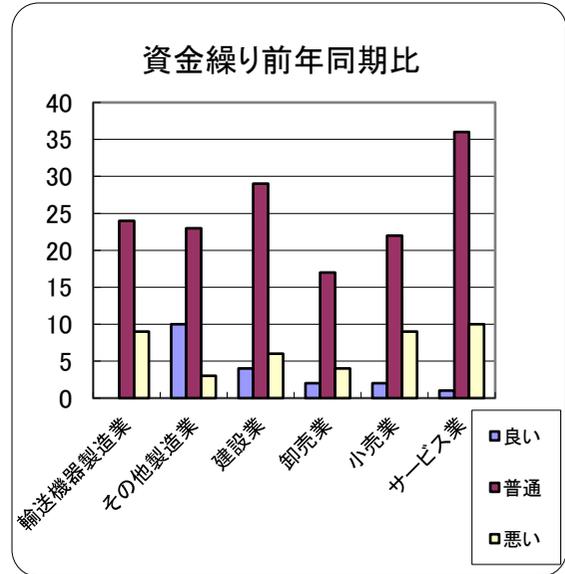
利益率前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	2	14	17	33	▲ 45.5
その他製造業	4	23	9	36	▲ 13.9
建設業	4	24	11	39	▲ 17.9
卸売業	2	11	10	23	▲ 34.8
小売業	4	15	14	33	▲ 30.3
サービス業	1	31	15	47	▲ 29.8
合計	17	118	76	211	▲ 28.0



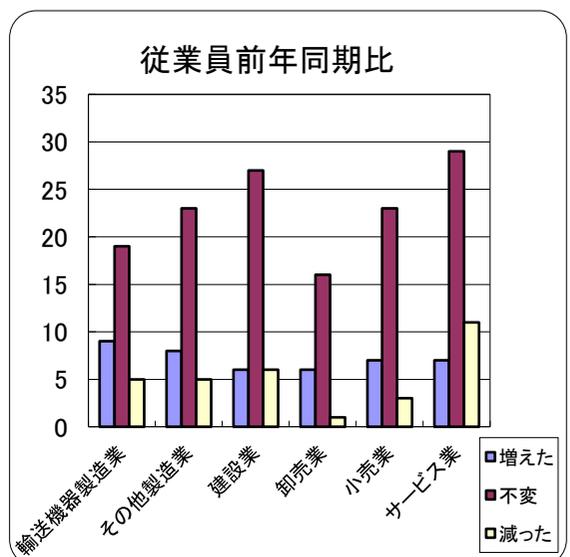
資金繰り前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	0	24	9	33	▲ 27.3
その他製造業	10	23	3	36	19.4
建設業	4	29	6	39	▲ 5.1
卸売業	2	17	4	23	▲ 8.7
小売業	2	22	9	33	▲ 21.2
サービス業	1	36	10	47	▲ 19.1
合計	19	151	41	211	▲ 10.4



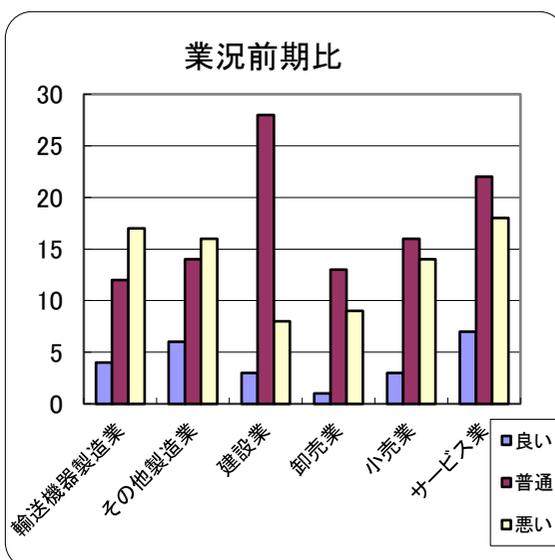
従業員前年同期比

	増えた	不変	減った	合計	DI値
輸送機器製造業	9	19	5	33	12.1
その他製造業	8	23	5	36	8.3
建設業	6	27	6	39	0.0
卸売業	6	16	1	23	21.7
小売業	7	23	3	33	12.1
サービス業	7	29	11	47	▲ 8.5
合計	43	137	31	211	5.7



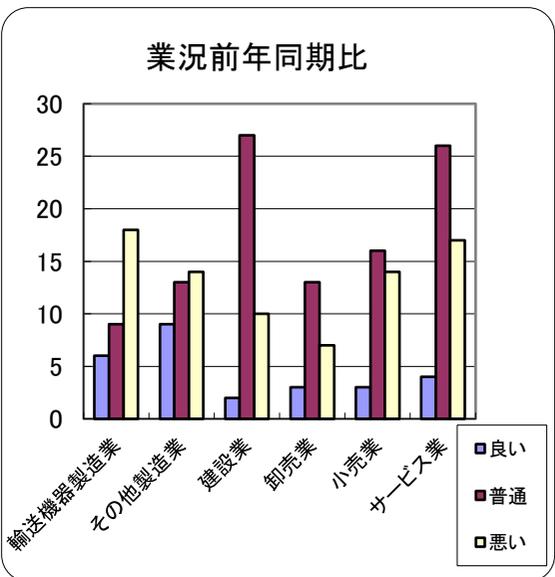
業況前期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	4	12	17	33	▲ 39.4
その他製造業	6	14	16	36	▲ 27.8
建設業	3	28	8	39	▲ 12.8
卸売業	1	13	9	23	▲ 34.8
小売業	3	16	14	33	▲ 33.3
サービス業	7	22	18	47	▲ 23.4
合計	24	105	82	211	▲ 27.5



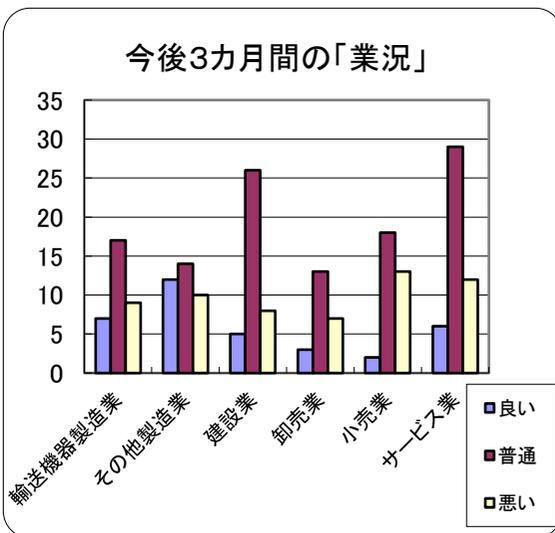
業況前年同期比

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	6	9	18	33	▲ 36.4
その他製造業	9	13	14	36	▲ 13.9
建設業	2	27	10	39	▲ 20.5
卸売業	3	13	7	23	▲ 17.4
小売業	3	16	14	33	▲ 33.3
サービス業	4	26	17	47	▲ 27.7
合計	27	104	80	211	▲ 25.1



今後3ヶ月間の「業況」見通し

	良い	普通	悪い	合計	DI値
輸送機器製造業	7	17	9	33	▲ 6.1
その他製造業	12	14	10	36	5.6
建設業	5	26	8	39	▲ 7.7
卸売業	3	13	7	23	▲ 17.4
小売業	2	18	13	33	▲ 33.3
サービス業	6	29	12	47	▲ 12.8
合計	35	117	59	211	▲ 11.4



(2)業種別DI値について

売上高DI(前年同期比)が小売業を除く全業種で低下したことなどから、業況DIも多くの業種が前期で低下するなど、景況感は悪化した。

輸送機器	前期(10~12月期)	今期(1~3月期)	比較増減
売上高前期比	11.4	▲ 33.3	▲ 44.7
売上高前年同期比	8.6	▲ 48.5	▲ 57.1
仕入単価前期比	▲ 31.4	▲ 27.3	4.1
利益率前期比	▲ 28.6	▲ 45.5	▲ 16.9
資金繰り前年同期比	▲ 11.4	▲ 27.3	▲ 15.9
従業員前年同期比	20.0	12.1	▲ 7.9
業況前期比	▲ 25.7	▲ 39.4	▲ 13.7
業況前年同期比	▲ 34.3	▲ 36.4	▲ 2.1
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 31.4	▲ 6.1	25.3

[企業コメントより]

- ・金型は波が有り量産で2年~3年で利益を取る業種とは違いがありプレスメーカーが各社同時期に発注集中。その後2~3年は下降をたどる業種だと考えております。【鉄工業】
- ・5月頃までは忙しい。その後はわかりませんが少し落ちてくるような気がします。【金型設計・制作】
- ・関東圏にあるメーカーに諸問題の影響が出て全体として低調である。問題が解決しても中国経済の減速の景況が強くなり、すぐに好転ということにはならない感強い。【部品製造】
- ・取引先の変更があった(変更した)【自動車部品塗装】

その他製造業	前期(10~12月期)	今期(1~3月期)	比較増減
売上高前期比	29.7	▲ 19.4	▲ 49.1
売上高前年同期比	24.3	▲ 13.9	▲ 38.2
仕入単価前期比	▲ 43.2	▲ 41.7	1.5
利益率前期比	▲ 2.7	▲ 13.9	▲ 11.2
資金繰り前年同期比	10.8	19.4	8.6
従業員前年同期比	10.8	8.3	▲ 2.5
業況前期比	8.1	▲ 27.8	▲ 35.9
業況前年同期比	10.8	▲ 13.9	▲ 24.7
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 8.1	5.6	13.7

[企業コメントより]

- ・ニットの季節が終わったため前期よりも当然悪い。しかし、今年は前年同期よりも多少良い。【ニット製造業】
- ・メーカーの在庫調整、人手不足によるライン停止などの原因【部品製造】
- ・家電量販店の拡販や電力会社の営業活動推進に加え、ZEH(ゼロエネルギーハウス)向け給湯器の増加により、前年同期に比べ当社業況は好調に推移しています。【電気器具製造】
- ・外部環境によるコスト増加が避けられないため、機械化による人件費の削減を行い利益を確保した【食品製造】

建設業	前期(10~12月期)	今期(1~3月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 10.5	▲ 7.7	2.8
売上高前年同期比	▲ 23.7	▲ 28.2	▲ 4.5
仕入単価前期比	▲ 39.5	▲ 38.5	1.0
利益率前期比	0.0	▲ 17.9	▲ 17.9
資金繰り前年同期比	2.6	▲ 5.1	▲ 7.7
従業員前年同期比	7.9	0.0	▲ 7.9
業況前期比	▲ 18.4	▲ 12.8	5.6
業況前年同期比	▲ 18.4	▲ 20.5	▲ 2.1
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 7.9	▲ 7.7	0.2

[企業コメントより]

・官庁工事の大型事業が減少し、維持・補修となり受注減少。年間通して平均的発注をお願いしたい。民間企業の更なる設備投資を期待します。【総合建設業】

・全般的に受注が減少傾向に入ったように感じる【造園業】

・得意先の販売不振により売上減少【リフォーム業】

卸売業	前期(10~12月期)	今期(1~3月期)	比較増減
売上高前期比	0.0	▲ 21.7	▲ 21.7
売上高前年同期比	0.0	▲ 4.3	▲ 4.3
仕入単価前期比	▲ 47.8	▲ 56.5	▲ 8.7
利益率前期比	▲ 8.7	▲ 34.8	▲ 26.1
資金繰り前年同期比	▲ 4.3	▲ 8.7	▲ 4.4
従業員前年同期比	8.7	21.7	13.0
業況前期比	0.0	▲ 34.8	▲ 34.8
業況前年同期比	▲ 4.3	▲ 17.4	▲ 13.1
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 34.8	▲ 17.4	17.4

[企業コメントより]

・当月は当社としては大型の案件を2件受注し、売上の核となるが他の得意先の仕事は薄いようで、前期に対しては微増とみている。来期に向けて1社、4月・5月は同様の動きで期待感はあるが、その他得意先の動向が全く見えてこない状況。支払いと回収のサイトの問題も含め、資金繰りは大変窮屈している。【建材卸売業】

・H30.1~3期間は、ビールテイストでの業務用商品群(瓶の生樽)等の価格変更があり、(アサヒビール3月~、サントリー・サッポロ・キリン、4月~)その仮需要が価格変更日程に伴い、売上高の多いカテゴリー商品が増・減分が大きく影響。物流経費等の見直しや、雇用条件の変更もあり経費増加が見られるのが現状。4月からは仮需あけということもあり売上増加が見込みを含めあるが、絶対的消費の減少がある中、不安要素もある。【飲料品卸売業】

・新事業加入に伴い、社員を増やしたため人件費・その他の経費が増。売上・利益につながるにはまだ時間がかかりそう。【飲料品卸売業】

・自動車修理、钣金業の売上減が著しい。取引先(販売先)関係者も自動車部門の売上減に対して在庫数減少等の対応に依り、売上に影響有り。自動車補修業界は、自動車事故の減少、車輛の耐用年数、使用年数の伸びにより縮小傾向にある。

弊社としては、3.4月に催される展示会売上及び昨年より継続テスト中の他業界向け商品の受注見込が4~5月にあるので、それに期待したい。【自動車部品卸売業】

小売業	前期(10~12期)	今期(1~3月期)	比較増減
売上高前期比	▲ 32.3	▲ 24.2	8.1
売上高前年同期比	▲ 25.8	▲ 15.2	10.6
仕入単価前期比	▲ 41.9	▲ 30.3	11.6
利益率前期比	▲ 32.3	▲ 30.3	2.0
資金繰り前年同期比	▲ 25.8	▲ 21.2	4.6
従業員前年同期比	9.7	12.1	2.4
業況前期比	▲ 48.4	▲ 33.3	15.1
業況前年同期比	▲ 38.7	▲ 33.3	5.4
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 32.3	▲ 33.3	▲ 1.0

[企業コメントより]

- ・商店街の通行客(買い物客)が減ってきている。何とか賑やかになれば【日用雑貨販売業】
- ・店舗を新しくしたためだと思います。【食料品販売業】
- ・物流コストや原材料価格が上昇しているの、4月からデコレーションケーキ等、値上げする予定です。【食料品販売業】
- ・ギフト類の売上が減少している。法事関係は家族葬が多くなっている為【食料品販売業】
- ・3/8時点で内閣府より景気動向指数が従来の「足踏み」から「下方への局面変化」に引き下げニュースを見て、我々が前々より感じていた中央と地方の温度差をやっと政府も理解し始めたという所だと思います。10月に消費税増税で、一段と消費が落ち込んだ場合、誰が責任をとるのでしょうか？賃金が上がらないのに、物価があがるのは、負のスパイラルへ「GO」だけは避けていただきたいと思っております。太田市の場合はスバルの影響が大き過ぎます。【日用雑貨販売業】
- ・小売業です。客数・客単価共に下がっています。5月10連休は行楽に地元客が消費をするとマイナスと考えます。【日用雑貨販売業】
- ・比較的先々不安に感じます。【食料品販売業】
- ・スバル関係がかなりひびいています。新年度に向けて消費がにぶっています。【酒類販売業】
- ・葬儀の品物が出ない。出金をおさえる為、家族葬が増えた場合税金が高い。運賃やメーカーの値上げで利益がでない。【仏具販売業】
- ・1~3月においては良かったが(景況)この先は予断を許さない。【楽器販売業】
- ・たばこを主に販売しているため、アゲンストの風が吹いている。【日用雑貨販売業】

サービス業	前期(10~12月期)	今期(1~3月期)	比較増減
売上高前期比	9.8	▲ 25.5	▲ 35.3
売上高前年同期比	0.0	▲ 19.1	▲ 19.1
仕入単価前期比	▲ 51.0	▲ 42.6	8.4
利益率前期比	▲ 23.5	▲ 29.8	▲ 6.3
資金繰り前年同期比	▲ 11.8	▲ 19.1	▲ 7.3
従業員前年同期比	2.0	▲ 8.5	▲ 10.5
業況前期比	▲ 13.7	▲ 23.4	▲ 9.7
業況前年同期比	▲ 13.7	▲ 27.7	▲ 14.0
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 13.7	▲ 12.8	0.9

[企業コメントより]

- ・1/26からスバルの製造停止および原産の影響が大きく3月から復旧したものの通期的には低迷した。【運送業】
- ・昨年10月より長年問題のあった単価の変更があった。しかし減産の見通し。【運送業】

・一般からの宴会の受注が伸び悩んでいます。1件当たりの施行規模も縮小しています。売上減につながります。レストラン事業も新規お客様のリピーター化に苦戦しております。【飲食等サービス業】

・スバルの1月の生産中止の影響がまだ2次下請けは残っていて、来年度以降も影をおとしそうです。全体的には平成最後はダメでした。【産業処理業】

・売上高が悪いのに仕入材料の乳製品、小麦粉、魚介類の値上がりが続いていて大変です。【飲食業】

・10月の消費税増に向けランチメニューを刷新した。2%上がるので1000円程度のランチメニュー本体は30円値上げした。本体の他、選択できるプリフィクスメニューも30円～値上げした。お客様の数が一時減る予想もしているが、価格を上げないと2%上昇分の売上げがなくなるので上げざるを得ない。人件費が・・・上がっているので2%の20円にプラス10円で30円値上げの準備。

人件費増回避の一助として検討していたテーブルオーダー端末の導入を決定した。近々設置となる。地方の零細飲食店でもこのような設備が必要になるのかと時代の変化に驚かされる。

三重県の(有)ゑびやが飲食店の経営にAIを利用して業績を伸ばしていると知った。大変興味深い。その社長を講師として呼んでもらえますか？よろしくお願いします。【飲食業】

・商品、原材料単価は幾分上昇傾向に有ります。業務効率、納入先へのご理解を賜り、粗利に影響することなく推移しています。【建物サービス業】

・寒い時期の帰宅の早さなどで寄り道をしない感がある。仕入単価が上がる状況になっているので販売値を上げていかなくてはならない状況になりつつある。最低賃金も上がっていき経営側は厳しい。働き方改革 働き手側の改革ばかりされ、経営側のメリットがない。【飲食業】

・人件費は上昇傾向だが、業況もいいので相殺される。【英会話】

・相対的に見ると暖冬で灯油の売上が落ちた。スバルの信頼回復と業績回復を切に願います。頑張れスバル！！【ガソリンスタンド】

・人手不足です。求人を出しても来ません。何かいい手段はありますか。仕事はありますが受けることが出来ません。【自動車整備業】

・前年度の2月がとても良かったので下がった気がするが、全体的にはほぼ変化なし。手数料とかも値上がりしてきたのが【飲食業】

・今期(1月～3月)は例年通りでしたが、次期(4月～6月)は公務員の異動や企業の転勤によって変化があるかもしれません……。今後の見通しが難しいです……。【理容業】

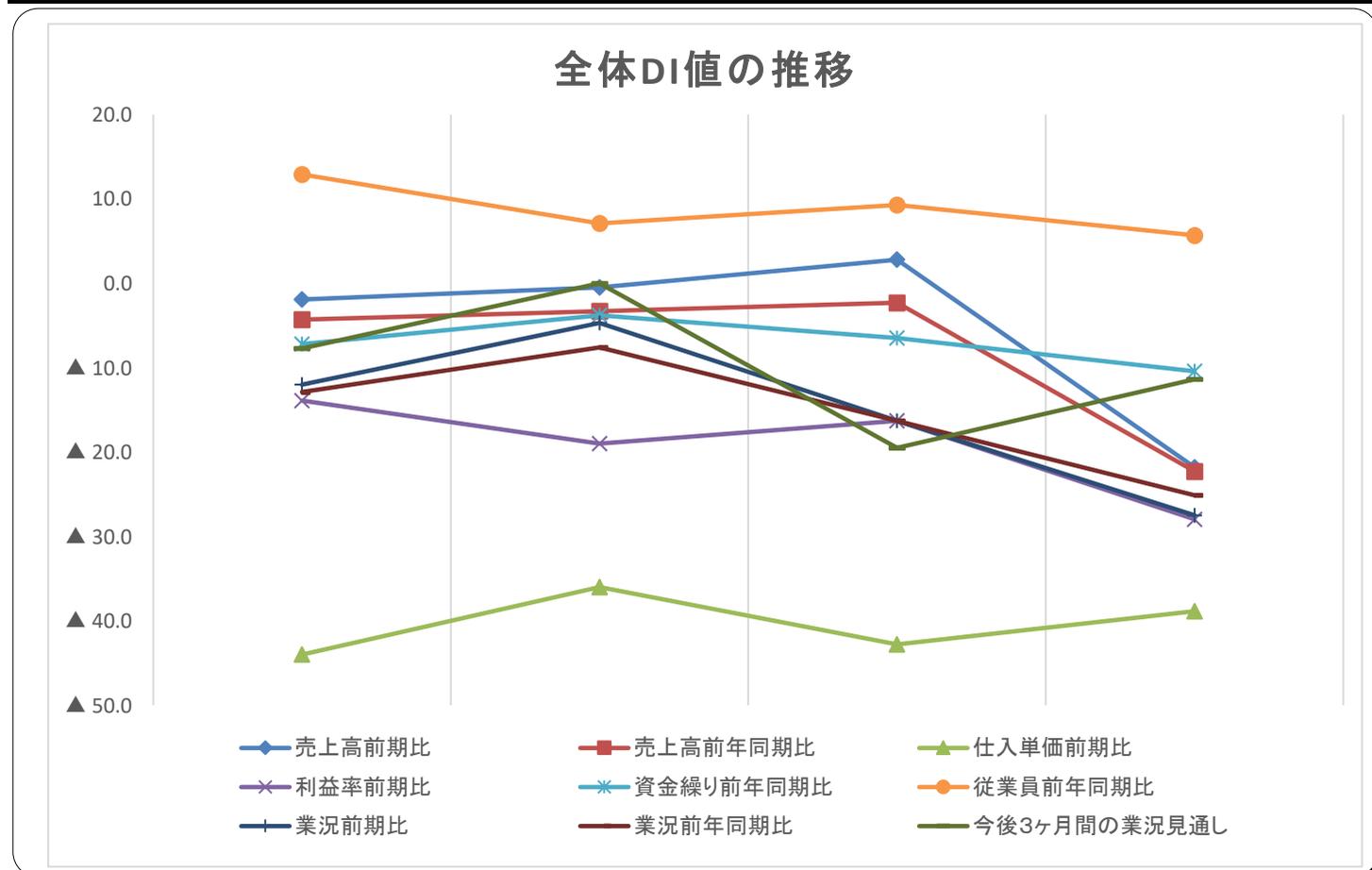
(3) 全体DI値について

全 体 D I 値	前期(10~12月期)	今期(1~3月期)	比較増減
売上高前期比	2.8	▲ 21.8	▲ 24.6
売上高前年同期比	▲ 2.3	▲ 22.3	▲ 20.0
仕入単価前期比	▲ 42.8	▲ 38.9	3.9
利益率前期比	▲ 16.3	▲ 28.0	▲ 11.7
資金繰り前年同期比	▲ 6.5	▲ 10.4	▲ 3.9
従業員前年同期比	9.3	5.7	▲ 3.6
業況前期比	▲ 16.3	▲ 27.5	▲ 11.2
業況前年同期比	▲ 16.3	▲ 25.1	▲ 8.8
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 19.5	▲ 11.4	8.1

【 動 向 】

今回の調査では、売上高(受注)が前期比・前年同期比ともに減少した。また、仕入単価・従業員のDIも前期に比べやや上昇したものの、依然厳しい状況にあることなどから、業況は悪化傾向にある。なお、今後3か月間の業況見通しは、前期比でやや改善するも、なお「悪化」が「好転」を上回っている。

全 体 D I 値 の 推 移	2018.4-6期	2018.7-9期	2018.10-12期	2019.1-3期
売上高前期比	▲ 1.9	▲ 0.5	2.8	▲ 21.8
売上高前年同期比	▲ 4.3	▲ 3.3	▲ 2.3	▲ 22.3
仕入単価前期比	▲ 44.0	▲ 36.0	▲ 42.8	▲ 38.9
利益率前期比	▲ 13.9	▲ 19.0	▲ 16.3	▲ 28.0
資金繰り前年同期比	▲ 7.2	▲ 3.8	▲ 6.5	▲ 10.4
従業員前年同期比	12.9	7.1	9.3	5.7
業況前期比	▲ 12.0	▲ 4.7	▲ 16.3	▲ 27.5
業況前年同期比	▲ 12.9	▲ 7.6	▲ 16.3	▲ 25.1
今後3ヶ月間の業況見通し	▲ 7.7	0.0	▲ 19.5	▲ 11.4



(4)比較資料編

当所調査のDI値をもとに、同様の景況調査を行っている機関とのデータ比較を行った。

(なお、日本商工会議所のLOBO調査については毎月調査となっているため、1～3月の平均値でDI値を算出)

①売上高前期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 26.1	▲ 13.8	-	-
建設業	▲ 7.7	▲ 3.2	-	-
卸売業	▲ 21.7	▲ 14.4	-	-
小売業	▲ 24.2	▲ 21.0	-	-
サービス業	▲ 25.5	▲ 10.9	-	-
全体	▲ 21.8	▲ 13.4	-	-

②売上高前年同期比DI (「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 30.4	-	▲ 4.7	0.1
建設業	▲ 28.2	-	▲ 3.4	
卸売業	▲ 4.3	-	▲ 16.6	▲ 0.4
小売業	▲ 15.2	-	▲ 31.5	
サービス業	▲ 19.1	-	▲ 7.9	
全体	▲ 22.3	-	▲ 12.3	▲ 0.3

(↑非製造業という括り)

③仕入単価前期比DI (「下降」と答えた割合－「増加」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 34.8	-	▲ 49.4	-
建設業	▲ 38.5	-	▲ 42.8	-
卸売業	▲ 56.5	-	▲ 34.0	-
小売業	▲ 30.3	-	▲ 30.2	-
サービス業	▲ 42.6	-	▲ 34.2	-
全体	▲ 38.9	-	▲ 38.6	-

(仕入単価・前年同期比)

④利益率前期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 29.0	▲ 22.7	▲ 13.7	0.3
建設業	▲ 17.9	▲ 11.9	▲ 9.1	
卸売業	▲ 34.8	▲ 22.2	▲ 12.3	1.6
小売業	▲ 30.3	▲ 31.7	▲ 26.9	
サービス業	▲ 29.8	▲ 22.5	▲ 15.4	
全体	▲ 28.0	▲ 23.4	▲ 16.0	1.2

(採算・前年同期比) (採算・前年同期比) (経常利益・前年同期比)

⑤資金繰り前年同期比DI (「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合)

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(全規模)
製造業	▲ 2.9	▲ 10.2	▲ 9.2	15.0
建設業	▲ 5.1	▲ 1.1	▲ 3.4	
卸売業	▲ 8.7	▲ 9.1	▲ 6.6	17.0
小売業	▲ 21.2	▲ 17.8	▲ 18.5	
サービス業	▲ 19.1	▲ 10.8	▲ 9.1	
全体	▲ 10.4	▲ 11.1	▲ 9.9	16.0

(前期比)

(直近比)

⑥従業員前年同期比DI（「増加」と答えた割合－「減少」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	10.1	▲ 2.2	－	－
建設業	0.0	▲ 3.1	－	－
卸売業	21.7	▲ 1.6	－	－
小売業	12.1	▲ 6.4	－	－
サービス業	▲ 8.5	▲ 6.1	－	－
全体	5.7	▲ 4.5	－	－

⑦業況前期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

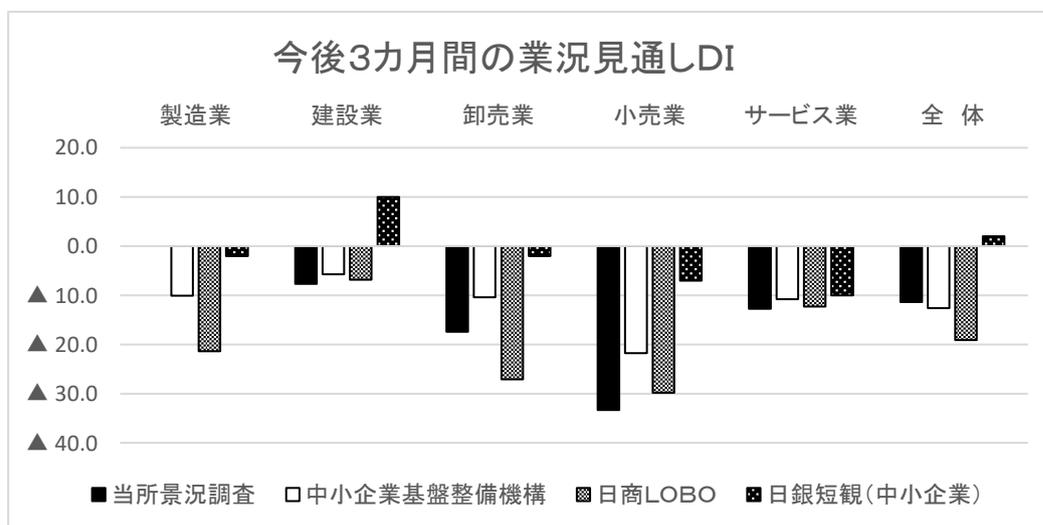
	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 33.3	▲ 14.5	－	6.0
建設業	▲ 12.8	▲ 3.9	－	22.0
卸売業	▲ 34.8	▲ 14.9	－	5.0
小売業	▲ 33.3	▲ 24.0	－	▲ 4.0
サービス業	▲ 23.4	▲ 12.5	－	▲ 7.0
全体	▲ 27.5	▲ 14.9	－	10.0

⑧業況前年同期比DI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	▲ 24.6	－	▲ 13.6	－
建設業	▲ 20.5	－	▲ 6.9	－
卸売業	▲ 17.4	－	▲ 21.1	－
小売業	▲ 33.3	－	▲ 32.7	－
サービス業	▲ 27.7	－	▲ 12.0	－
全体	▲ 25.1	－	▲ 17.0	－

⑨今後3ヶ月間の業況見通しDI（「好転」と答えた割合－「悪化」と答えた割合）

	当所景況調査	中小企業基盤整備機構	日商LOBO	日銀短観(中小企業)
製造業	0.0	▲ 10.1	▲ 21.4	▲ 2.0
建設業	▲ 7.7	▲ 5.7	▲ 6.8	10.0
卸売業	▲ 17.4	▲ 10.4	▲ 27.1	▲ 2.0
小売業	▲ 33.3	▲ 21.8	▲ 29.8	▲ 7.0
サービス業	▲ 12.8	▲ 10.8	▲ 12.3	▲ 10.0
全体	▲ 11.4	▲ 12.6	▲ 19.1	2.0



太田商工会議所管内景況調査報告書

～調査・分析・発行～

太田商工会議所

〒 373-8521

群馬県太田市浜町3-6

TEL 0276 (45) 2121

FAX 0276 (45) 1088

URL <http://www.otacci.or.jp>

Mail info@staff.otacci.or.jp

2019年(平成31年)4月7日 発行